

ちよこっとサービス協力員募集

住み慣れた地域でいつまでも暮らしたい

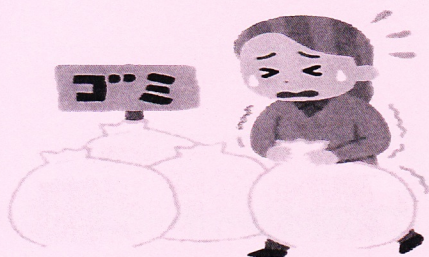
高齢者の多くは住み慣れた地域でこのままずっと暮らしたいと考えています。

しかし、ひとりで暮らす世帯では、今までできていた日常生活上のちょっとした作業が、だんだんできなくなって来ています。

たとえば、

- ゴミステーションまでのゴミ出し
- 電球や蛍光灯の交換
- 電気ブレーカーの復旧
- 買い物代行

などなど



こんな時、ちょっとお手伝いしてもらえれば、まだまだこの家で暮らせるのに…。



そんな声にお応えして高齢者の生活の中でのちょっとした

『困った』に、お手伝いする生活支援「ちよこっとサービス」をはじめました。

高齢者の支援のため少額の謝礼でお手伝いいただける「ボランティア」を募集します。謝礼は約10分＝100円。およそ30分300円程度です。

※詳しくは裏面をご覧ください。

社会福祉法人大網白里市社会福祉協議会
大網白里市大網 131-2・133 合併 1
TEL 0475-72-1995
FAX 0475-72-1996

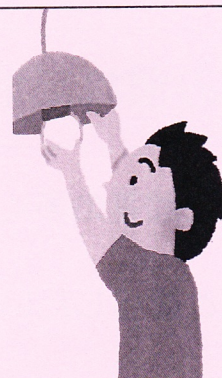
誰かに、手助けして欲しくても、公的サービスでは解消することが困難であったり、民間サービスでは割高であったり、あるいは、知り合いには頼みづらい、無償ではボランティアでも頼みにくい「ちょっとした困りごと」を解消できるように、大網白里市社会福祉協議会では、有償の支援「ちょこっとサービス」を始めます。

「困ったときはお互い様」の気持ちで、地域の方に少しでも力を貸していただくことで、高齢者だけで生活する世帯を支援します。

少しの報酬を介在することで、「お願いしたい人も」、「手助けしたい人も」、少しでも遠慮のない関係が築けることをめざします。

◆手助けしていただきたい作業は

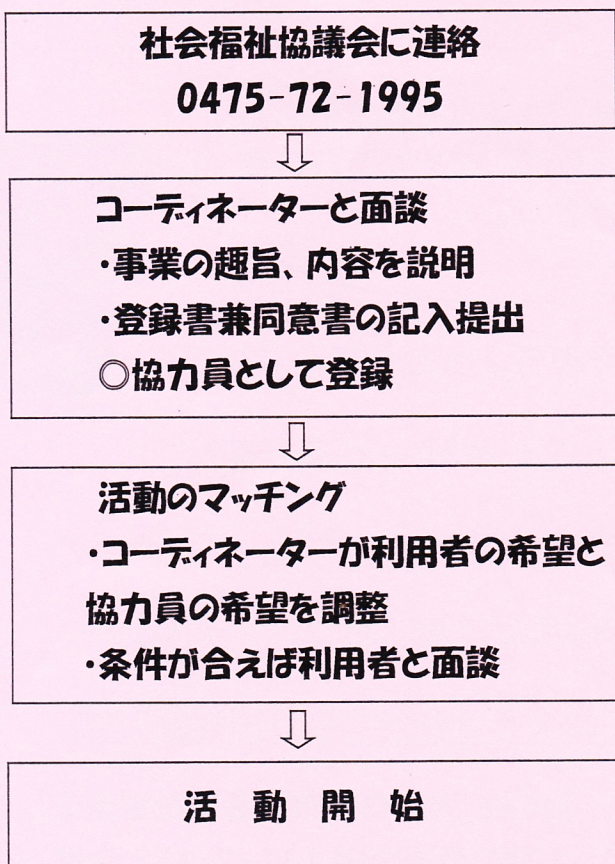
- ・ゴミステーションまでのゴミ出し
- ・雨戸を開ける
- ・電球や蛍光灯の交換
- ・電気のブレーカーの復旧
- ・家具や重い物の移動手伝い
- ・30分以内の買い物代行
- ・花壇等への水撒き
- ・食事の支度、後片付け



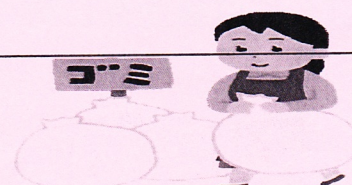
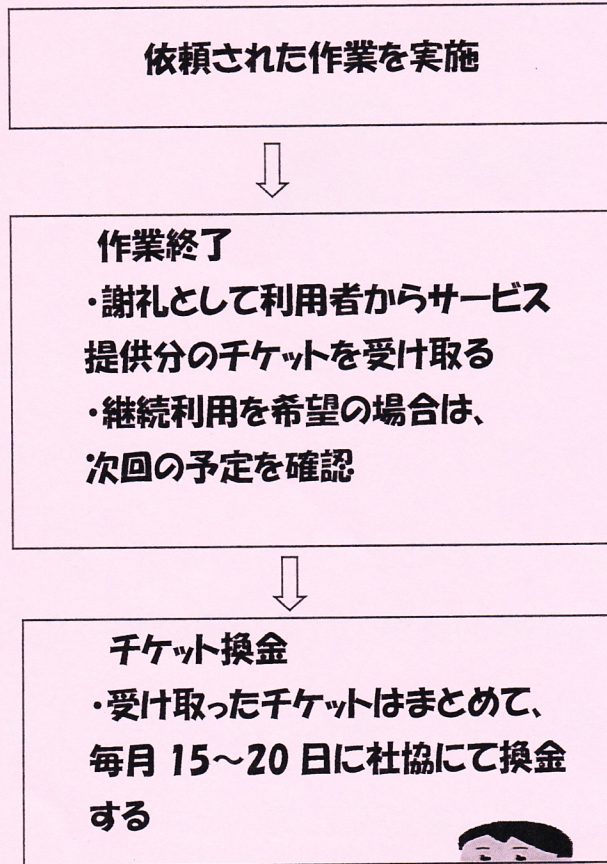
◆謝礼は約10分＝100円。およそ30分以内の軽易な作業です。

◆利用者からの謝礼の受取りはチケット制で行います。

《協力しようと思ってくれた方は》



《サービスの提供》



回 覧

※「赤い羽根」は世帯ごとにお取り下さい。

共大支第 51 号
令和5年9月13日

市民の皆様へ

社会福祉法人 千葉県共同募金会
大網白里市支会長 永野 和子
(公印省略)

令和5年度「赤い羽根共同募金」「歳末たすけあい募金」へのご協力について (ご依頼)

日頃より、本会の事業活動に対しまして、格別のご理解・ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、今年度も10月1日より全国一斉に「赤い羽根共同募金運動」が始まります。また、12月1日からは「歳末たすけあい募金運動」が始まります。

これらの運動は、さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む民間団体を支援する仕組みとして、また、やさしさや思いやりを届ける運動として推進されています。

①赤い羽根共同募金

千葉県共同募金会の配分委員会を経て県内の民間福祉施設へ助成されます。社会福祉協議会の様々な地域福祉活動に活用させていただいております。

「赤い羽根共同募金のつかいみち」(裏面)をご覧ください。

②歳末たすけあい募金

市内で援助や支援を必要としている生活支援世帯へ配分されます。

※歳末たすけあい募金は、12月1日からですが、赤い羽根募金と併せて、ご依頼させていただきます。

| | | | |
|-----|-------------|----------|-------|
| 目標額 | 「赤い羽根共同募金」 | 1世帯 500円 | 計600円 |
| | 「歳末たすけあい募金」 | 1世帯 100円 | |

区・自治会長様には募金の取りまとめを10月末までをお願いしております。趣旨にご賛同いただき、ご理解・ご協力くださいますようお願い申し上げます。

—問い合わせ先— 社会福祉法人千葉県共同募金会大網白里市支会
(社会福祉法人大網白里市社会福祉協議会)
電 話：0475-72-1995



赤い羽根共同募金のつかいみち

創設 70 年以上の歴史のある「赤い羽根共同募金」は、社会福祉法に基づく募金であり、「**じぶんの町を良くするしくみ。**」をテーマに、全国で年間約 7 万件にわたる各地の住民ボランティアや地域福祉活動（高齢者、障がい者、子どもの支援など）を応援しています。

また、**災害発生時**にも役立てられており、令和元年の房総半島台風等でも、被災地復興のための**災害ボランティアセンターの運営**や**被災家屋へのブルーシートの張り付け**、**災害ごみの撤去作業**に使われました。



共同募金は、寄付金が集まってから使いみちを決めるのではなく、地域の民間福祉のニーズを受け付けて、使いみちを決めてから募金を行う「**計画募金**」となります。

その為、支援が必要なところに助成金が行き渡るよう、募金の**募金目標額**を定めて、皆さまにご寄付のご協力をお願いしています。



社協だよりの発行・ふれあいきいきサロンの推進

・年 6 回奇数月に「社協だより」を発行し、事業や講座・研修会の案内をはじめ、社会福祉協議会に関する情報を住民のみなさまにお知らせしています。

ホームページや Twitter では最新の情報をお伝えしています。

・ひとり暮らしの高齢者が地域の中で住民とふれあい、楽しむ仲間をつくることによっていきがいを得ることができるよう、地域の公民館や公共施設等で「ふれあいきいきサロン」を開催しています。



総合相談事業の推進・子育てサロンの推進

・社会福祉協議会では総合相談所を開設し、日常生活上のあらゆる悩みを持つ地域住民の相談に応じています。

相談種類は心配ごと相談・法律相談・税務相談・心の相談となっています。

・地域の中でのふれあいや、仲間づくりに主任児童委員・社会福祉協議会のボランティア（先輩お母さん）が月 1 回、中央公民館・農村環境改善センター・農村ふれあいセンターで「子育てサロン」を開催しています。



福祉教育の推進・支部社協活動の推進

・市内の児童・生徒を対象に、支部社協の協力を得て、高齢者疑似体験や車椅子体験を通して、福祉への理解と関心を深めることを目的に福祉教育を推進しています。

・市内に 5 つの支部社協（山辺・大網・瑞穂・増穂・白里）を設置し、地域住民の方々を中心に、市社協や行政などと協働して地域の特性を生かした、きめ細やかな地域福祉活動を展開しています。



赤い羽根共同募金



問い合わせ先 千葉県共同募金会 大網白里市支会 TEL：0475-72-1995

赤い羽根



共同募金

令和5年10月1日～令和6年3月31日



子育てサロン・のびのびひろば(大網白里市)

令和4年度
みなさまから寄せられた募金総額

569,276,262円

赤い羽根募金 364,466,440円

市町村歳末
たすけあい募金 186,134,119円

NHK歳末
たすけあい募金 18,675,703円

令和4年度 共同募金運動にご協力いただきありがとうございました

「みんな」が主役の地域を良くする運動です

「赤い羽根共同募金」は、1947年(昭和22年)に始まって以来、地域の福祉活動に役立ってきた社会福祉法に基づく募金です。

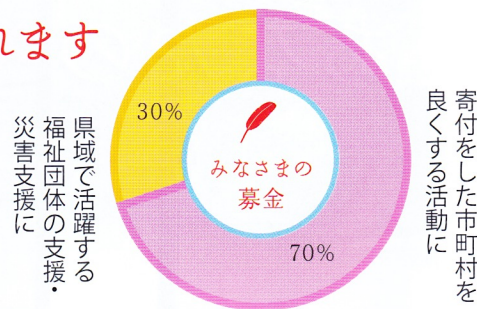
「じぶんの町を良くするしくみ。」をテーマに、全国で年間約4万6,000件にのぼる各地の住民ボランティアや地域福祉活動(高齢者、障がい者、子ども、災害時支援など)を応援しています。



赤い羽根は皆さまの身近な“困りごと”に使われます

千葉県内でお預かりした募金のうち70%が皆様の身近な地域(市・区・町・村内)で福祉課題の解決のため活用されています。残りの30%は県内の社会福祉施設の整備や福祉団体等の活動支援として活用されるほか、災害支援にも役立てられています。(運動経費を除く)

また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、職を失い困窮している人や地域での孤立を防ぐ活動への支援も数多く行っています。



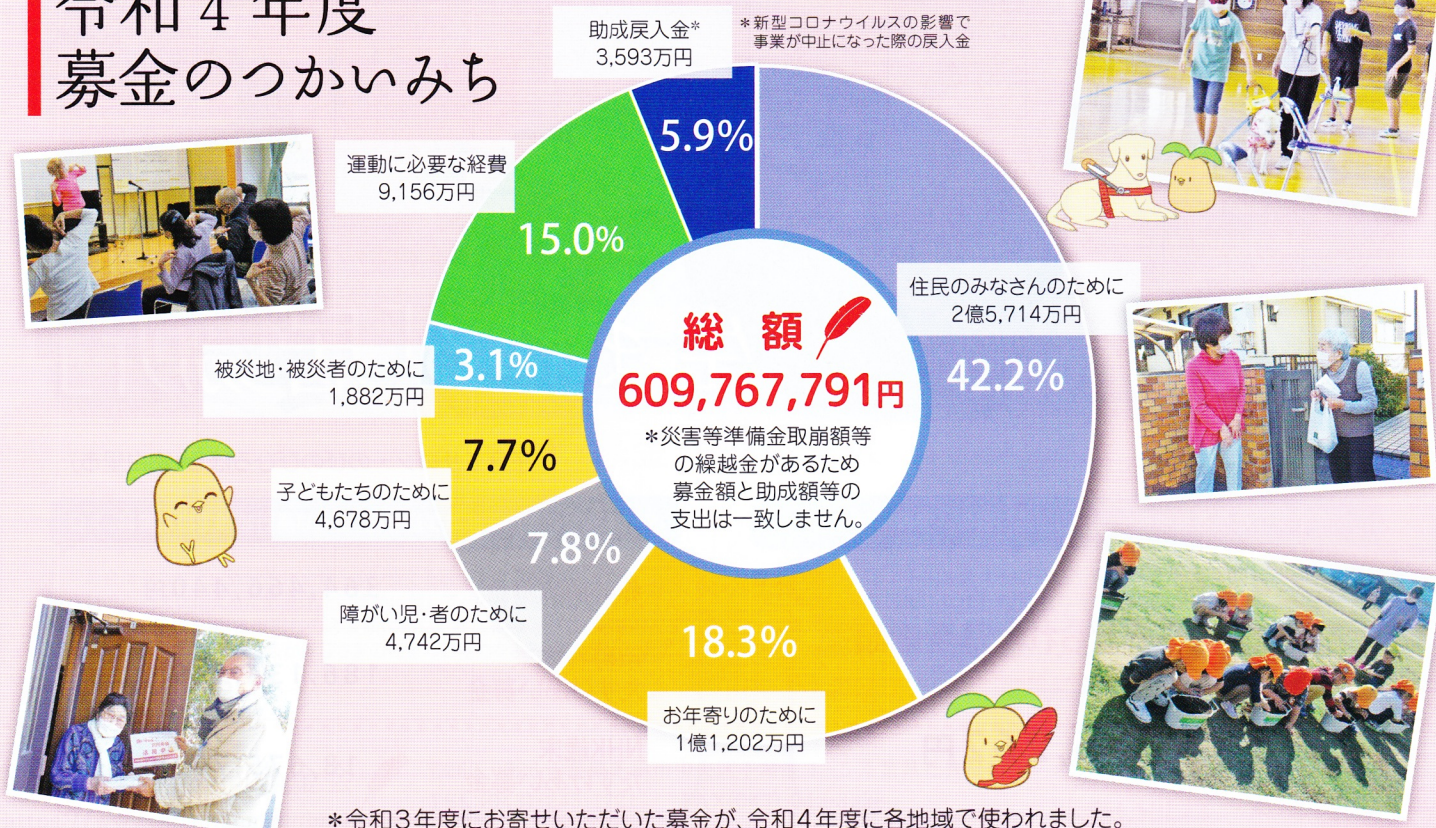
十分な支援を届けるための「募金目標額」

共同募金は、寄付金が集まってから使いみちを決めるのではなく、地域の民間福祉のニーズを受け付けて、使いみちを決めてから募金を行う「計画募金」です。

その為、支援が必要なところに助成支援が行き渡るよう、募金を募るために募金目標額を定めて、皆さまにご寄付のご協力をお願いしています。

| 今年度の募金目標額 | |
|--------------|--------------|
| 合計 | 630,000,000円 |
| 赤い羽根募金 | 390,000,000円 |
| 市町村歳末たすけあい募金 | 210,000,000円 |
| NHK歳末たすけあい募金 | 30,000,000円 |

令和4年度 募金のつかいみち



寄付者のみなさまへ ありがとうメッセージ

お寄せいただいたご浄財が、たくさんの「ありがとう」に変わりました。



アドバイザーが中心となり、身体に障がいのある方たちへの就労相談や自立支援を行っています。【千葉市】



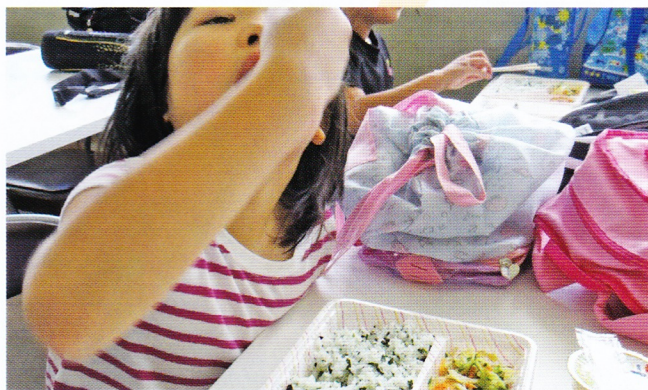
お子さんがいる家庭をボランティアが訪問して交流し、「地域での子育て」を行っています。【御宿町】



高齢者や障がいなどのために、公共交通機関での移動が困難な方の外出をサポートしています。【東金市】



地域の小学生と高齢者が竹馬やおはじきなどの「昔遊び」を通じて交流しました。【長南町】



放課後児童クラブに通う子供たちにお弁当をお届けする「楽々 kids ランチ」を開催しました。【睦沢町】



ウクライナから避難してきた方々が集う場を開催し、日本で生活を支援しています。【千葉市】

千葉県では毎年2,500件以上の助成を行っています。

これからも、みなさんの募金がたくさん困っている人たちの「ありがとう」に変わるよう活動していきます。



社会福祉法人
千葉県共同募金会
会長 小島 信夫

「日常」を取り戻す動きが広がる一方で、地域や人々のつながりは希薄化し、多くの福祉課題を生んでおります。皆様のおかげで、一人でも多くの困っている方々にお届けできるよう、皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

「日常」を取り戻す動きが広がる一方で、地域や人々のつながりは希薄化し、多くの福祉課題を生んでおります。皆様のおかげで、一人でも多くの困っている方々にお届けできるよう、皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年度の共同募金運動は、新型コロナウイルス感染症対策が「新しい生活様式」となり日常を少しずつ取り戻す動きが広がる中での運動となりました。まだまだ影響が残る厳しい状況下にも関わらず、5億5千万円余のご支援をいただき、深く感謝申し上げます。

ご協力ありがとうございました



災害へのとりくみ

災害等準備金

大規模な災害が起こった際の備えとして、各都道府県の共同募金会では、毎年「赤い羽根募金額」の3%を「災害等準備金」として積み立てています。この積み立ては、災害ボランティア活動支援など、被災地のために使われています。(3年経過後、取崩して共同募金助成に役立てられます。)

令和4年度積立額 **17,078,000円**
積立金総額 **52,846,000円**



災害ボランティアセンターの活動支援



福祉施設の復興支援



ボランティアの活動支援



災害見舞金(令和4年度)

○火災・風水害 **198件 1,608,000円**

被災者・被災地支援(令和4年度)

○災害時ボランティア養成研修会 **100,000円**

令和4年度 災害義援金

令和4年度は各地で地震や豪雨による災害が発生し、甚大な被害を及ぼしました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。千葉県共同募金会では、各災害において義援金の募集を行い、その結果下記のとおり義援金をお寄せいただきました。皆様の温かいご協力に心より感謝申し上げます。

| 災害義援金名 | 義援金額 |
|--------------------|----------|
| 熊本県南豪雨義援金 | 1,872円 |
| 平成30年7月豪雨災害義援金 | 4,181円 |
| 令和3年大雨災害義援金 | 59,904円 |
| 令和4年3月福島県沖地震災害義援金 | 22,776円 |
| 令和4年台風第15号災害静岡県義援金 | 30,000円 |
| 令和4年8月大雨災害義援金 | 143,622円 |
| 合計 | 262,355円 |

義援金は被災道府県共同募金会に送金し、被災地それぞれの行政、共同募金会、日本赤十字等で構成される災害義援金の配分委員会において定める配分基準に基づき各市町村を通じて被災者に配分されます。



【台風第15号災害】

共同募金運動にご理解・ご協力をお願いいたします

グッズ募金

千葉県共同募金会マスコットキャラクター「びわびよ」のグッズや、様々なキャラクターとのコラボグッズなどの購入を通じてご寄付をお願いしております。



令和5年度「びわびよ」ピンバッジ▶

ネット募金

ネットからのご寄付を受け付けております。クレジットカードやコンビニ支払、キャリア決済など様々な決済方法をご用意しています。



あかいはね自販機

売り上げの一部が地域福祉のために寄付される「あかいはね自販機」の設置にご協力いただけるオーナー様を募集しています。



イベント募金

県内を本拠地とするスポーツチームの試合会場など、県内で行われる様々なイベント会場で募金活動を行っております。



新型コロナウイルス感染症拡大による「新しい生活様式」にあわせ、様々な対策を行いながら共同募金運動を推進してまいりました。

このような状況下でも、温かいご理解・ご協力をいただきました寄付者・ボランティアのみなさまに心より感謝申し上げます。



募金活動Q & A

Q1. 募金は自主的な行為なのに、割り当てがあるのはなぜですか？

共同募金はみなさまに強制的に金額を割り当てる募金ではありません。ただし、地域福祉のニーズに応えるため設けた目標額に対してどの程度募金が必要か、その判断材料として目安額(各市町村の必要額に応じて異なる)を示すことはあります。あくまで目安ですので、どうかみなさまの任意のご協力をよろしくお願いします。

Q2. 共同募金への寄付金には税の特典があるそうですが？

個人の寄付金は2千円を超える部分が所得控除または税額控除、個人住民税の所得税控除の対象になります。会社などの法人の寄付金は、全額損金算入または寄付金の特別損金算入(社会福祉法人-特定公益増進法人-へ寄付金を支出した部分)ができます。なお、遺贈による寄附金には相続税がかかりません。

「日常生活自立支援事業」(愛称：すまいる) の紹介

日常生活自立支援事業とは、高齢の方や障がいをお持ちの方で、十分な判断ができない方などが地域で安心して生活できるよう、利用者との契約に基づき、福祉サービスの利用援助等を行うものです。

福祉サービスを利用する際のさまざまな手続きや、生活に必要な利用料などの支払い手続き、日常的な預貯金の出し入れや書類の管理など、手続きや日常的な金銭管理を代行して、地域で安心して暮らすことができるように、お手伝いします。

この事業は、利用者本人との契約によりサービスの提供を行います。判断能力が著しく低下、契約が結べない方は、成年後見制度を利用することによりサービスの提供が行われます。

詳しくは、大網白里市社会福祉協議会までご連絡ください。

※日常生活自立支援事業は国庫補助金の名称です。

社会福祉法第2条には「福祉サービス利用援助事業」として規定されています。

「日常生活自立支援事業」(愛称：すまいる) って何をしてくれるの？

高齢者や障害者の方々が、安心して、笑顔（スマイル）で、自立した地域生活を送るために必要な支援をします。

定期的な訪問により、福祉サービスを利用するお手伝いや、日常的な金銭管理をお手伝いすることで、高齢者や障害者の方々が住み慣れた地域で生活できるように支援する事業です。

福祉サービス利用援助
福祉サービスを安心してご利用できるようにお手伝いします。

<例えば>

- 福祉サービスについての情報提供を受けられます。
- 福祉サービスを利用したり、やめるために必要なことを一緒に考えながら手続きをします。
- 福祉サービスを利用して嫌なことがあったら、苦情解決制度を利用する手続きをお手伝いします。



財産管理サービス
毎日の暮らしに欠かせないお金の出し入れをお手伝いします。

<例えば>

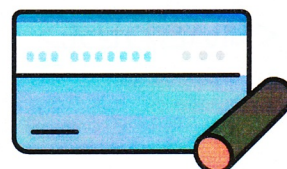
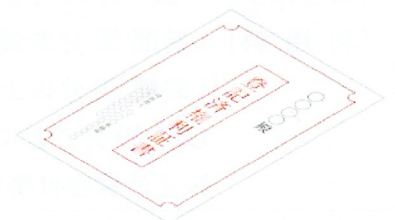
- 医療費、税金、公共料金等を支払うお手伝いをします。
- あなたの通帳から生活に必要なお金を払い出してお渡します。また、預け入れすることもできます。

財産保全サービス
大切な書類や印鑑などをお預かりします。

<お預かりできるもの>

- 年金証書、預貯金通帳、不動産権利証書、契約書類
- 実印、銀行印
- その他社会福祉協議会が適当と認めた書類

※財産保全サービスのみのご利用はできません。
宝石、骨董品、貴金属類、株券、有価証券などはお預かりできません。



日常生活自立支援事業を利用するまでの流れ

1 相談

社会福祉協議会が相談窓口です。
困っていることがあれば気軽に相談して下さい。



2 訪問

社会福祉協議会の専門員がお宅を訪問し、困っていることなどをお聞きします。



契約締結審査会(千葉県後見支援センター)

3 支援計画作成

ご本人の希望を確認しながら、
専門員が支援計画を作ります。
その計画で良ければ契約します。
生活支援員を選任・決定します。



4 支援の開始

担当の生活支援員が、支援計画に基づいて、定期的に訪問し、必要に応じた福祉サービス利用援助や、預貯金の出し入れ、支払代行をします。



【費用について】

[年会費] 年額 3,600円 (月額 300円)

[財産保全] 年額 3,000円 (月額 250円)

[利用料] 1時間30分未満 1,000円

1時間30分以上2時間未満 1,500円

以降30分ごとに500円加算

※生活保護世帯は無料です。

【利用者宅への往復に係る交通費】

30分未満 無料

30分以上1時間未満 500円

1時間以上 一律 1,000円

※自宅から利用者宅もしくは自宅から社協への往復移動時間。(1ヶ月間の合計時間)

<問い合わせ先> 社会福祉法人 大網白里市社会福祉協議会
住所：大網白里市大網131-2
電話：0475-72-1995



第2回

主催 社協 増穂支部 ウォークラリー実行委員会

ウォークラリー

歩いて! 見て! わが街再発見!

日時 令和5年10月8日(日) 雨天中止
9:30~12:30 受付9:00から

参加申込期限 9月30日(土)
先着30組(1チーム2~5名)

Aコース 3.1km 20組 Bコース3.7km 10組

集合場所 中部コミュニティセンター 2階 視聴覚室

開催要項・参加申込用紙は
増穂支部事務所・中部コミュニティセンターに用意

臨時駐車場 ヤックスケアタウン大網増穂店 向かい側 小川駐車場

お問合せ 増穂支部 森下 090(1035)0835

ウォークラリーは、誰でもすぐに参加でき、歩くことと頭を使いながら楽しむレクリエーションゲームです。

ラリーと言っても速さを競うものではなく、チェックポイントの問題を解きながら先へ進み、設定された時間との誤差や問題の正解率で順位を決めます。



なかよしバスの旅



高尾山散策



深大寺参拝



行程

中コミ ⇒ 湾岸幕張SP ⇒ 高尾山 ⇒ 深大寺と昼食 ⇒ 湾岸幕張SP ⇒ 中コミ

日時 令和5年11月14日(火) 参加定員 60人

集合場所 中部コミュニティセンター

臨時駐車場 ヤックスケアタウン大網増穂店 向かい側 小川駐車場

受付 7:40から 8:00出発 16:00帰着予定

参加申込み 10月14日まで 武重 72-5267 高木 72-0711へ

参加費7,000円を10月16日(月)~20日(金)、

13時~15時30までに支部事務所へご持参ください

所在地 富田2116-1 スーパーカスミの向かい側

増穂中 だより

学校教育目標

「自ら考え、精一杯自己実現し、
仲間の存在を認め合える生徒の育成」

(ねがい)
自分のよさを知り 思いやりをもって仲間と生活し
挑戦することを恐れなくて 学校生活を楽しめる
増穂中生になってほしい。

令和5年9月1日 (No. 5) 文責：教頭

令和5年度 第1回学校活動アンケートへのご協力ありがとうございました。保護者の皆様からは昨年度以上のご協力を賜り感謝申し上げます。アンケートの結果は以下のとおりです。集計結果を表面に、結果からのまとめを裏面に記載しておりますのでご覧ください。

今回の結果を踏まえ、組織的・継続的な改善と発展に努め増穂中学校の子供たちの成長を支えていきます。

令和5年度 第1回学校評価(自己評価)の結果とまとめ

1 アンケートの概要【学習指導・生活指導・地域家庭との連携】

| | 保護者対象 | 生徒対象 | 職員対象 |
|----------|-----------|-----------|----------|
| 実施日 | 7月13日～28日 | 7月13日～20日 | 7月8日～13日 |
| 回収率 | 88.1% | 97.1% | 100% |
| 令和4年度第2回 | 89.5% | 95.6% | 100% |

設問(保護者対象。生徒対象は表現を変えて18問まで、教師対象は表現を変えて同義)

| | | |
|-----------------|---|--|
| 学習指導 | ① | お子様の学力は年々向上している。(学力=①基礎的な知識・技能、②それらを活用して課題を解決するための思考・判断・表現力など、③学習への意欲) |
| | ② | お子様は、学校の授業について、楽しく分かりやすいと言っている。 |
| | ③ | お子様は、読書する習慣が身につけている。 |
| | ④ | お子様は、家庭学習の習慣が身につけている。 |
| | ⑤ | お子様は、将来への夢を抱き、卒業後の進路を考え、今何をすべきかを意識して生活している。 |
| | ⑥ | 学校は、お子様の学力や努力を適切に評価している。 |
| 生活指導 | ⑦ | お子様は、学校へ行くことを楽しみにしている。 |
| | ⑧ | お子様は、場に応じたあいさつや、正しい言葉遣い、ふさわしい服装ができています。 |
| | ⑨ | お子様は、自分の役割に責任を持つことや、身の回りを整理・整頓する習慣が身につけている。 |
| | ⑩ | お子様は、友達やクラス、部活動の仲間を大切に、楽しく充実した学校生活を送っている。 |
| | ⑪ | お子様は、学校の係活動や委員会、部活動等に意欲的に取り組んでいる。 |
| | ⑫ | お子様は、命を大切に、交通ルールや社会のきまり、学校のきまりを守って生活している。 |
| 教育相談 いじめ防止 | ⑬ | 学校は、お子様の悩みや相談ごとに適切に応じている。 |
| | ⑭ | 学校は、「いじめ」の早期発見・早期対応、再発防止に努めている。 |
| | ⑮ | 学校に相談窓口(スクールカウンセラー・子どもと親の相談員が配置)が設置されていることを知っている。 |
| 家庭の 連携 地域 | ⑯ | 学校は、特別に支援が必要な生徒への配慮をしている。 |
| | ⑰ | 学校は、安全対策に努めている。(交通事故・不審者・衛生管理) |
| | ⑱ | 学校は、各種のたより(学校・学年・学級・保健・給食)を発行し、学校の様子を伝えている。 |
| | ⑲ | 学校は、保護者に対して誠意を持って対応している。 |
| | ⑳ | 学校は、保護者や地域の願いに応えている。 |

イ 校外での安全、校内での行動について

「Ⅱ生活指導」の調査（設問7～12、設問9は除く）については、生徒は95%以上、保護者の方は90.5%と肯定的な回答をいただきました。特に「(設問12) 命を大切する、交通ルールや社会のきまりを守る」の項目については、生徒・保護者にかかわらず95%以上の肯定的な回答を得ております。各ご家庭でのご指導に加え、1年時の交通安全教室や各学年における定期的な安全指導（集会や学級での指導）などの取組が安全に対する意識を高め、今回の結果に結びついたと考えています。しかし、昨年度は3件の自転車事故があり、乗り方については継続的な指導が必要だと考えております。生徒同士の並進や道路の横断方法など、例年の課題もあります。繰り返し指導を重ね未然の事故防止に努めていくとともに、生徒たちの交通ルールの遵守とさらなる安全意識の向上に努めていきます。

「(設問10) 仲間を大切に、楽しく充実した学校生活を送っている。」「(設問11) 係活動や委員会活動、部活動等に意欲的に取り組んでいる。」の両項目では、生徒及び保護者の方のほぼ90%以上の肯定的な回答を得ております。感染症の制限がほぼ解除され、日常生活の中での協働的な活動に加え、各行事や大会等がコロナ禍以前のように実施できたことで、多くの仲間と力を合わせたり、助け合ったりする場面が増えたことも、今回の結果につながったと考えられます。2学期以降の授業はもとより、様々な教育活動において、共に学び合い、高め合えるような場面を多く設けることで、一人一人が充実感を感じられる学校を目指していきます。

ウ 整理・整頓について（整理・整頓をすることは学習環境づくりにもなり、学習の効率化にもつながる）

「(設問9) 自分の役割に責任を持つことや、身の回りを整理・整頓する習慣が身についている。」については、生徒と保護者の方の認識が大きく異なる結果でした（生徒：94.5%、保護者：73.5%）。

例年、自由記述（別紙）の中にも「整理・整頓ができない。」と書かれる保護者の方が複数名います。学校では、教室環境の重要性について指導をしております。ゴミなどが落ちている汚れた教室や物が散らかった教室では学習に集中することができないと考えているからです。それは、自分の部屋等においても同様だと思います。また、「整理・整頓」の行き届いた部屋で行う学習は、学習道具も整理されているため、道具や必要とするプリントなどを探す時間や手間も減り、効率的に学習することができると思います。2学期以降も生徒には「整理・整頓」上手になれるように指導を重ねていきますので、ご家庭でも「整理・整頓」の意識が高まるような声かけをよろしくお願いします。

(3) 教育相談・いじめ防止について

「(生徒設問14) 私は、今「いじめ・セクハラ・体罰」を受けていない。また、見かけたことがない。」について、生徒は97.1%で昨年度とほぼ同等の結果となりましたが、学校としてはいじめ等0（ゼロ）を目標としています。そのためには、未然防止、早期発見、早期対応が重要であることから、毎月1回のアンケート調査や学期に1度の教育相談週間、スクールカウンセラーとの全員面談等を実施して個々の生徒理解に努めています。加えて、出てきた情報を全教職員で共通理解し、組織的かつ継続的に見守るようにしています。また、いじめ撲滅の取組として、(生徒会主体で考えた)「思いやり宣言 5箇条」をはじめ、子供たちがより安心して生活できる「いじめのない学校づくり」に力を注いでいます。今後も、各ご家庭と連携しながらお子様のSOSサインの把握に努めますので、ご協力をお願いいたします。

「(生徒設問18) 学校での生活の様子について家庭で話をする」については、90.8%と例年よりも高い結果となりました（昨年度：平均83.1%）。思春期のわりには多いように感じます。ご家族の方と良い関係が構築されているからだと思います。今後も子供たちのとの会話の場を定期的に設けていただき、会話から子供たちの“心の様子”を把握していただければ幸いです。

(4) 家庭・地域と学校との連携について

家庭・地域との連携について、コロナウイルスが5類に分類され、以前の生活に戻りつつあるようにも感じられますが、コロナ前のように大々的な学校開放を行うところまでは戻れていない状況です。しかし、学校としては保護者の皆様、地域の方々のご理解を得ながら、積極的な開放を行うとともに、皆様とできる限りの連携を図ってまいりたいと考えておりますので、変わらぬご協力をお願いいたします。

今後の学校の取組状況につきましては、学校だよりや学年だより、メール配信を通して、生きた情報を提供するとともに、地域への情報発信にも力を注いでいきたいと思っております。

最後に、何かとご多忙の中、学校活動アンケートにご協力いただきありがとうございました。自由記述欄のご意見につきまして、検討が必要な内容に関しましては、学校内での調整を図り、可能な限り進めてまいります。別添資料に自由記述に対する現時点での方向性や対応についての回答を掲載しましたのでご覧ください。

3 まとめ

(1) 学習指導について

ア 学力向上のための「楽しくわかりやすい授業」の推進について

例年、「(設問1) 私の(お子様の) 学力は年々向上している。」及び「(設問2) 私にとって学校の授業は(お子様は学校の授業について)、楽しく分かりやすいと言っている。」については、それぞれ、生徒と保護者の方の認識に差が見られます(設問1 生徒: 85.0%、保護者: 54.0%)。確かな学力の定着と学習意欲の向上を目指して「楽しくわかる授業・魅力ある授業」の実践に努めていきます。令和2年度から、単元の終わりに各教科で生徒による授業評価を行っています。生徒からの評価をもとに、教員一人一人が授業の改善に努めています。また、夏休み中の補習の他に、2学期も希望者対象の放課後補習を実施していきますので、積極的に参加するようにお子様にお声かけください。

イ 読書について

「(設問3) 私(お子様)は、読書する習慣が身につけている。」の問いに対しては、昨年と同様に生徒と保護者の方の回答に大きな差があります(生徒: 73.9%、保護者45.3%)。本校では、毎朝の読書タイム(朝10分間)での良書との出会いに加え、毎週金曜日を集団読書の日とし、名著に触れる機会を設けています。読書を通じて、様々な見方や考え方ができるような取組を今後も継続していきます(今年の2月、外部機関から頂いた1,000冊以上の新書を配備しました)。中学生のこの時期は、スマートフォンやゲーム機等の利用時間が増える時期ですが、これまで以上に成果のある読書活動となるように学校と家庭で連携を図り、良書との出会いや読書に対する意識の高揚を図っていきたくと考えておりますので、各ご家庭においても、読書の推進にご協力をよろしくお願いします。

ウ 効果的な家庭学習と習慣化について

(設問4)家庭学習の習慣化に関する項目についても、生徒と保護者の方の認識に大きな差があるようです(生徒: 94.8%、保護者73.2%)。家庭学習を行ってほしいと考える理由として、授業において学んだことを各家庭で振り返り、理解を深めたり、家で学習した内容を授業において再確認したりするためにあると考えています。しかし、残念ながら家庭学習ノートを提出することが目的となってしまう生徒がいることも事実です。学校としては、量的側面だけでなく、質的側面も高められるよう、指導・支援を継続して行っています。また、家庭学習推進の取組として、生徒たちが主体的に家庭学習を進められるよう、学習の補助プリントを各学年の廊下に準備しておりますので、ご活用いただきたいと思っております。

エ 卒業後の進路について

「(設問5) お子様(私)は、将来への夢を抱き、卒業後の進路を考え、今何をすべきかを意識して生活している。」については、生徒: 72.7%と昨年度よりも向上しています。特に現3年生の結果について、昨年の2年生7月時点では54.4%でしたが、今回の調査では72.5%と大幅に増加しました。昨年度までの低い結果を踏まえ、ICT機器を利用して、生徒が自己の興味や適性を探りながら自己理解を深める取組や、職業観や勤労観について学習を重ねるキャリア学習の充実を図ったこと、加えて、一昨年度までは実施することができなかった職場体験学習の実施など、子供たちが主体的に、自分の未来について考える場を多く設けたことが増加要因の1つだと思っております。今後も現3年生だけでなく、どの学年においても、生徒の実態に応じたキャリア教育を推進していく予定です。

(2) 生活指導について

ア 【最重要項目】学校に行くことについて

「(設問7) お子様(私)は、学校へ行くことが楽しみである。」について、全生徒の回答としては90%近くが肯定的なものでした(例年、全平均80%前後)。コロナ禍が収まりつつあり、様々な教育活動をほぼ制限無く行うことができたことも、学校に行くことが楽しいと感じる要因の1つだと思っております。数値的には昨年度を上回っていますが、思春期であり、多感な子供たちには多くの悩みや迷いがあるものです。加えて、3年生にとっては、今後、進路選択に関する不安も重なってくるのが想像できます。今の「学校に行きたい」という気持ちを維持・向上できるように、学校としては適切な支援をしていかなければなりません。また、アンケートにおいて評価が低かった生徒には十分注意を払って対応していくとともに、これまでの教育相談やアンケート等の内容についても再確認し、個に応じた適切な対応を行っていきます。

2学期以降も、子供たちにとって安全・安心であり、また楽しみでもあり、そして、各自の自己有用感や自尊心の向上が図れるような学校、「明日も笑顔で通える学校」を目指していきます。

2 回答

(1) 学習面・生活面・家庭連携等に対する全校の回答の傾向（保護者対象）

| 分類 | 学校評価における保護者アンケートにおいて | 本校の現状 | | | | | | 本年度 1回目 |
|-----|---|------------|------------|------------|------------|------------|------------|-------------|
| | | R02 1回目 | R02 2回目 | R03 1回目 | R03 2回目 | R04 1回目 | R04 2回目 | |
| I | 【学習指導】 左ページの設問①～⑥に関する項目について「そう思う」「ややそう思う」と肯定的な回答をした保護者の割合 | 65.3 | 65.1 | 61.0 | 62.2 | 61.3 | 60.6 | 61.1 |
| II | 【生活指導】 左ページの設問⑦～⑫に関する項目について「そう思う」「ややそう思う」と肯定的な回答をした保護者の割合 | 85.3 | 84.7 | 86.9 | 85.1 | 88.3 | 86.7 | 87.7 |
| III | 【教育相談・いじめ防止】 左ページの設問⑬～⑮に関する項目について「そう思う」「ややそう思う」と肯定的な回答をした保護者の割合 | 77.8 | 80.2 | 76.7 | 77.3 | 85.1 | 87.9 | 91.0 |
| IV | 【家庭・地域の連携】 左ページの設問⑯～⑳に関する項目について「そう思う」「ややそう思う」と肯定的な回答をした保護者の割合 | 92.0 | 91.6 | 89.4 | 82.1 | 90.6 | 92.0 | 92.5 |

(注) 生徒・保護者・教師を対象とした学校活動におけるアンケートは、学校教育目標に基づき「Ⅰ学習指導」「Ⅱ生活指導」「Ⅲ教育相談・いじめ防止」「Ⅳ家庭・地域連携」の4つに分類し、それぞれの質問を設定しました。

生徒対象アンケート集計結果（「そう思う」＋「ややそう思う」という肯定的意見の割合をパーセント表示）

| | 分類別 | | | | 各設問別 | | |
|---|------|------|------|------|-------|-------|-------|
| | 全体 | 1年 | 2年 | 3年 | 1年 | 2年 | 3年 |
| 1 私の学力は年々向上している。 | 85.9 | 89.0 | 84.2 | 84.5 | 92.8 | 79.7 | 82.6 |
| 2 私にとって学校の授業は、楽しく分かりやすい。 | | | | | 97.6 | 84.8 | 94.2 |
| 3 私は、読書する習慣が身についている。 | | | | | 80.7 | 75.9 | 65.2 |
| 4 私は、毎日家庭学習を行っている。 | | | | | 92.8 | 97.5 | 94.2 |
| 5 私は、将来への夢を抱き、卒業後の進路を考え、今何をするべきかを意識して生活している。 | | | | | 72.3 | 73.4 | 72.5 |
| 6 私の努力や学力は適切に評価されている。 | | | | | 97.6 | 93.7 | 98.6 |
| 7 私は、学校へ行くことが楽しみである。 | 95.2 | 96.2 | 92.4 | 97.1 | 88.0 | 84.8 | 92.8 |
| 8 私は、場に応じたあいさつや、正しい言葉遣い、ふさわしい服装ができています。 | | | | | 100.0 | 96.2 | 97.1 |
| 9 私は、自分の役割に責任を持つことや、身の回りを整理・整頓することができています。 | | | | | 96.4 | 88.6 | 98.6 |
| 10 私は、友達やクラス、部活動の仲間を大切に、楽しく充実した学校生活を送っている。 | | | | | 96.4 | 94.9 | 97.1 |
| 11 私は、学校の係活動や委員会・部活動等を意欲的に取り組み責任を果たしている。 | | | | | 96.4 | 92.4 | 97.1 |
| 12 私は、命を大切に、交通ルールや社会のきまり、学校のきまりを守って生活している。 | | | | | 100.0 | 97.5 | 100.0 |
| 13 私は、困ったときに相談できる先生や、友人がいる。 | 97.1 | 95.2 | 97.5 | 98.6 | 95.2 | 94.9 | 97.1 |
| 14 私は、今「いじめ・セクハラ・体罰」を受けていない。また、見かけたことがない。 | | | | | 94.0 | 98.7 | 98.6 |
| 15 私は、学校に相談窓口(スクールカウンセラー・子どもと親の相談員が配置)が設置されていることを知っている。 | | | | | 96.4 | 98.7 | 100.0 |
| 16 私は、生徒会の思いやり宣言を理解し、思いやりを持って行動している。 | 96.2 | 95.6 | 97.9 | 95.2 | 98.8 | 100.0 | 98.6 |
| 17 私は、交通安全や感染症予防に努めている。 | | | | | 97.6 | 98.7 | 100.0 |
| 18 私は、学校での生活の様子について家庭(自宅)で話をします。 | | | | | 90.4 | 94.9 | 87.0 |

保護者対象アンケート集計結果（「そう思う」＋「ややそう思う」という肯定的意見の割合をパーセント表示）

| | 分類別 | | | | 各設問別 | | |
|--|------|------|------|------|-------|------|------|
| | 全体 | 1年 | 2年 | 3年 | 1年 | 2年 | 3年 |
| 1 お子様の学力は年々向上している。 | 61.1 | 68.7 | 58.7 | 56.0 | 67.2 | 46.7 | 48.2 |
| 2 お子様は、学校の授業について、楽しく分かりやすいと言っている。 | | | | | 75.8 | 50.9 | 55.1 |
| 3 お子様は、読書する習慣が身についている。 | | | | | 50.7 | 50.0 | 35.1 |
| 4 お子様は、家庭学習の習慣が身についている。 | | | | | 82.4 | 71.7 | 65.5 |
| 5 お子様は、将来への夢を抱き、卒業後の進路を考え、今何をするべきかを意識して生活している。 | | | | | 43.1 | 42.4 | 47.4 |
| 6 学校は、お子様の学力や努力を適切に評価している。 | | | | | 92.7 | 90.7 | 84.6 |
| 7 お子様は、学校へ行くことを楽しみにしている。 | 87.7 | 91.8 | 83.2 | 88.1 | 80.9 | 78.3 | 86.0 |
| 8 お子様は、場に応じたあいさつや、正しい言葉遣い、ふさわしい服装ができています。 | | | | | 91.2 | 88.3 | 93.0 |
| 9 お子様は、自分の役割に責任を持つことや、身の回りを整理・整頓する習慣が身についている。 | | | | | 86.4 | 62.7 | 71.4 |
| 10 お子様は、友達やクラス、部活動の仲間を大切に、楽しく充実した学校生活を送っている。 | | | | | 94.0 | 91.7 | 89.3 |
| 11 お子様は、学校の係活動や委員会、部活動等に意欲的に取り組んでいる。 | | | | | 98.4 | 85.0 | 90.9 |
| 12 お子様は、命を大切に、交通ルールや社会のきまり、学校のきまりを守って生活している。 | | | | | 100.0 | 93.3 | 98.2 |
| 13 学校は、お子様の悩みや相談ごとに適切に応じています。 | 91.0 | 96.1 | 89.0 | 87.9 | 92.7 | 81.1 | 84.4 |
| 14 学校は、「いじめ」の早期発見・早期対応、再発防止に努めている。 | | | | | 95.5 | 87.5 | 81.0 |
| 15 学校に相談窓口(スクールカウンセラー・子どもと親の相談員が配置)が設置されていることを知っている。 | | | | | 100.0 | 98.3 | 98.3 |
| 16 学校は、特別に支援が必要な生徒への配慮をしている。 | 92.5 | 95.9 | 89.2 | 92.2 | 94.2 | 92.5 | 92.7 |
| 17 学校は、安全対策に努めている。(交通事故・不審者・衛生管理) | | | | | 93.8 | 93.0 | 90.7 |
| 18 学校は、各種のたより(学校・学年・学級・保健・給食)を発行し、学校の様子を伝えている。 | | | | | 95.6 | 91.5 | 96.5 |
| 19 学校は、保護者に対して誠意を持って対応している。 | | | | | 100.0 | 88.1 | 92.7 |
| 20 学校は、保護者や地域の願いに応えている。 | | | | | 96.1 | 81.1 | 88.4 |

※「わからない」と回答された数は、全体数から引いています。

